



# たかまる通信

号外  
参議院選挙  
特集号  
2007.6.13  
討議資料

発行  
福岡たかまる後援会  
TEL0952-30-0555  
e-mail takamaro@takamaro.jp  
ホームページ:www.takamaro.jp

参議院選挙が目前に迫ってきました。七月五日告示、七月二十二日に投票が予定されています。安倍政権を擁する与党が過半数を維持して安定した政権運営を可能にするのか、野党連合が過半数をとり勢いをつけるのか、まさに天下分け目の戦いです。



衆議院（定数四百八十名）は任期が四年（解散有り）で一度に選挙が行われますが、有権者数によ

## 参議院選挙の概要

下分け目の戦い。暑い、熱い夏が始まります。

## 重要な意味を持つ一人区

議院（定数二百四十二名）は任期が六年で、三年ごとに半数ずつ改選が行われます。ですから、七月の参議院選挙の改選議席は、選挙区七十三、全国比例四十八の計百二十一となります。

前回（平成四年）与党は大変苦戦を強いられ、自民・公明併せて改選議席の半数に満たない五十八議席しか獲得できませんでした。つまり、与党で過半数を維持するためには今回の選挙で六十四議席が必要となるのです。連立を組む公明党が改選の十三議席を維持した場合、自民党は五一議席を得なければならず、これはかなり高いハードルとなります。参議院で与野党が逆転するようなことがあれば、衆議院で通過した法律案の審議もストップすることが予想され、国政に大きな混乱が生じることは間違いないません。

議院（定数二百四十二名）は任期が六年で、三年ごとに半数ずつ改選が行われます。ですから、七月の参議院選挙の改選議席は、選挙区七十三、全国比例四十八の計百二十一となります。（裏面表参照）

## 今後の政局を占う、天下分け目の戦い

### 第一回参議院選挙（

複数区は与野党で定数を分け合うことが多いため、二十九の一人区で与党勢力がどるか、野党勢力がどるかが選挙の帰趨を決するといえるのです。が定数五で一番多く、都市部を擁する都道府県が定数三（五府県）、定数二（十二道府県）と続き、比較的有権者が少ない二十九県が一人区となっています。（裏面表参照）

### 自民党参議院佐賀県第三選挙区支部長が決定しました

かわかみ



## 川上よしゆき 佐賀県参議院選挙区第三支部長

- 生年月日／昭和29年9月28日(52歳)
- 最終学歴／九州大学大学院工学研究科修了(昭和54年3月)
- 経歴／昭和54年4月 建設省入省(中部地方建設局三重工事事務所)  
昭和60年11月 九州地方建設局筑後川工事事務所調査課長  
平成元年4月 建設大臣官房政策課長補佐  
平成3年4月 九州地方建設局武雄工事事務所長  
平成13年7月 佐賀県土木部長  
平成15年10月 佐賀県副知事就任

川上よしゆき 後援会事務所

〒849-0918 佐賀市兵庫南1丁目22-11  
TEL0952-41-7712 FAX0952-27-3151 http://www.yoshi-kawakami.jp

## 佐賀選挙区の持つ重み

これまで参議院佐賀選挙区において、自民党は過去二十回の戦いにおいて一度も敗れたことがありません。今回、与党で過半数を維持するためには二十九の一人区で二十議席の獲得が必要だといわれています。この佐賀選挙区を獲得するか落とすかが、過半数の維持において極めて重要な意味を持つてくるのです。私たち佐賀県民が歴史のキャスティングボードを握っているといつても過言ではありません。

自民党では昨年、佐賀選挙区に陣内孝雄氏を公認し準備

を進めてまいりましたが、五  
月に公認辞退の申し出があり  
ました。佐賀の発展のために

多くの功績を残してきた陣内  
氏の公認辞退は残念ですが、  
自民党では人選を進め、前副  
知事の川上義幸氏を公認候補  
とすることを決定しました。

しかしながら候補者決定か  
ら、告示日まで一ヶ月あまり。  
三年かけて準備を進めてきた  
相手候補に、一ヶ月で勝負を

挑まなければなりません。佐  
賀選挙区では、  
比例代表と二票投票して頂く  
ことになります。選挙区では、

### 参議院選挙の投票の仕組み

賀県全域を回ることもままならない状況で、厳しい戦いを強いられるのは必至といえるでしょう。

副知事として、古川知事と二人三脚で県政にあたってきました。川上さん。国との交渉をする県政の諸課題に遅滞なく取り組める方として、その重責を担つて頂きたいと思つて

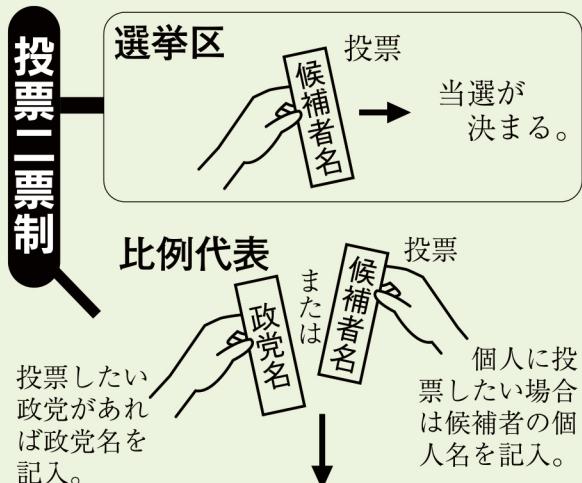
います。

歴史を左右するとも言える、

今回の参議院選挙。棄権することなく一票という形で自らの意思表示をして頂ければと

思っています。

### 比例代表・非拘束名簿式の仕組み



#### 1 各政党の総得票数を計算

候補者名が記入された票は、所属政党に与えられた票として合計。これに政党名が記入された票の数を加える。

| A党の場合       |
|-------------|
| ○川○子 = 30万票 |
| □山□夫 = 18万票 |
| △村△郎 = 9万票  |
| A党 = 15万票   |
| 合計 = 72万票   |

#### 2 「ドント式」により各政党の当選者数を比例配分

各政党の総得票数を1、2、3…と順に整数で割っていく、答えの大きい順に議席を配分。この方式で当選者数を各党に割り振る。

#### 3 各政党の当選者は、政党内の得票順で決定

政党に対して決定された当選者数に応じ、各政党内の個人名による獲得票数の多い者から順に当選が決まる。2人が当選と決まった場合のA党なら、得票数1位の○川○子と2位の□山□夫の2人が当選。

発行／福岡たかまろ後援会 ※いろんなご意見、ご案内を是非お寄せください。

佐賀事務所 TEL 0952-30-0555 FAX 0952-30-0700 e-mail takamaro@takamaro.jp

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 東京事務所 衆議院第2議員会館G28号室 TEL 03-3581-5111 (内線7628) 直通03-3508-7628 FAX 03-3508-3258

福岡たかまろホームページ: www.takamaro.jp (毎日更新中)